

● ●
ベトナム住宅調査……………1
事務局からのお知らせ……………4



第 199 号

NPO 法人建築Gメンの会
〒154-0001

東京都世田谷区池尻 2-2-15-201

発行責任者：理事長 大川 照夫

TEL 03-6805-3741

FAX 03-6805-3719

E-Mail jimukyoku@kenchiku-gmen.or.jp

Homepage URL

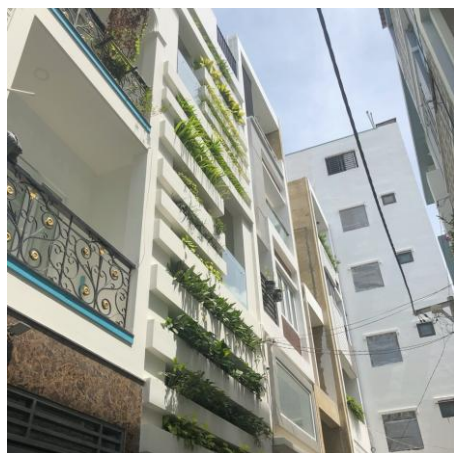
<http://www.kenchiku-gmen.or.jp/>

ベトナム住宅調査

文責 学生R

建築を学ぶ女子大生です。卒業論文でアジアの住宅調査を行うため、ベトナム南部のホーチミンに10日間行って参りました。住宅の空間構成や自生的空間、共有空間、コミュニティなどを研究する研究室に所属しており、私は人がどのように住宅に住んでいるのか、反対に住宅は人にどのように住まわれて影響を与えるのか、人と住まい・建築の関係性に興味があります。大きな土地に大きな建築物を作り、空間に対していろいろな機能や用途を持たせることは容易であります、限られた面積でどのように暮らし、且つ日本と同じく核家族化が進んでいるベトナムの状況、時代の変化や家族の変化の中で、住宅がどのように変化しているのかを知るため、今回はベトナムの都市部で主要な住宅

であるペンシルハウスに着目して研究を行いました。ペンシルハウスは間口3m、奥行き15〜20mの細長い形状をした2〜4階建の住宅で、壁は隣接した家と共有はしていませんが密接に建てられています。基本的に出入り口は一つで窓がなく、間仕切壁もなく、空間の定義はきつちりと定めない住宅がほとんどです。築年数が経過した古い住宅では無採光居室もあり、温熱環境の深刻な住宅もありました。最近の住宅では吹き抜けやドライエリアを作ったという問題が解決しようという工夫が見られました。



ペンシルハウス（1）

ペンシルハウス（2）



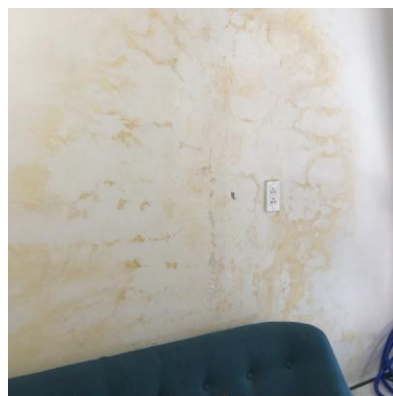
調査は事前にアポイントメントを取らず、突撃訪問でお宅を調査させていただきました。あらかじめ、google map のストリートビューという機能を使って各区を把握しておき、調査当日にそのエリアへ行き、観察してみても人が家の前にいて、声をかけよう！建築を学んでいて、日本から来ました！あなたのお家を見せてください！とひたすら声をかけていく形です。（笑）得体的に知らない外国人が家を見せて欲しいなんて、もちろんお断りされることもありましたが、快く受け入れてくださる方が圧倒的に多く50世帯の方が調査に協力してくだ

さいました。家族構成や築年数などの基本的な情報などのヒアリング調査と並行して寸法を計測して間取りを抑え、写真をとりとかなりハードな調査でした。ただいま、集めた基本情報や写真の整理、スケッチした図面をCADで書き、慎重にそれらを考察して卒業論文を執筆しています。国が違えば、環境も感覚も全く違うと改めて感じました。前述で、壁は共有していないが、密接に建てていると記述しましたが、正確にはコンクリートで外壁同士をくっつけて建てています。建て替える時は隣家の壁を容赦無く研(はつ)つて、ボロボロになっているのを何度か見かけました。



隣家の壁を研(はつ)った後

外壁を研られた住宅の内部を見せていただくと、漏水で内壁にシミができてるのが確認できました。



漏水してできた壁面の染み

壁が壊されてしまったり、漏水してシミができているのに対して、どう思っているのかを尋ねたところ、特に問題視しておらず、これは当たり前という感覚で、非常にルーズな国だと感じました。また、増改築を建築会社や施工業者に依頼せず、独自に行う住宅もありました。ベトナム現地の建築会社に勤める方とお話すると、法律に関して、日本は厳しすぎ、ベトナムでは法律はあるけれども緩く、守らない人・業者が多いと伺いました。国民性や、気候や環境による感覚の差、ギャップに触れることができ、とても刺激的でした。

ベトナムでまず驚いたことは空港から一歩外に出たときの、湿度の高さとバイクの交通量と排気ガスです。



バイクの群れ

空港からホテルまでタクシーで向かう途中、タクシーが走行しているも停車していても、左右・前後に加えて、斜め方向からも「隙間があれぼどんどん進む」といった感じで、バイクで溢れています。排気ガスがすごいので、マスクは手放せませんでした。日本は歩行者優先ですが、ベトナムはそのような概念はありません。一応、横断歩道があるだけで、走るバイクの大群をうまくアイコンタクトを取りながら渡るとい

うイメージです。空港からホテルまで、20分位の距離が日本円にして300〜400円、前菜からワインまで、お腹いっぱい食事をして一人2000円以下と物価がとても安いです。屋外でも活動が盛んな国で、露天商も多く、屋外で地面からわずか20cm位しかないローテーブルと椅子で食事をしている光景をよく見かけました。そのテーブルにはプラスチックでできたお箸が入った容器が置いてあり、お箸を使ったら紙で拭いてその容器に戻すのが習慣のようです。日本では馴染みのない習慣で、衛生的に心配でしたし、体調を崩しては調査にならないので気をつけて過ごしておりました。インフラ整備は完全ではなく、ホテルのシャワーの温度は、温かくなったりぬるくなったりとムラがありました。ホーチミンは発展途上の都市ですが、日本企業もベトナムに進出し、これから大きく変わって行きそうな予感がします。調査でペンシルハウスはあまり若い人には人気がないとわかり、今後発展していく中でペンシルハウスが一掃されて高層ビルになってしま

市場



うのか。露天商で賑わうローカルな市場もいつかは生まれ変わるために姿がなくなってしまうのか。自生的な建築も国のアイデンティティ的要素、つまりベトナムらしさになるのではないと思います。決して綺麗な街ではありませんが、緩くて曖昧な秩序や決まりの中、賑やかで活気があって、高速ビルが建ち始めた区もあれば、ディープでローカルな生活がある区もあり、現在のベトナムの状態でちょうどいいのではないのかと思います。ベトナムに限らずどの国に行っても、その国の良し悪しは見えますが、実際に見聞きして、知ることは大切だと強く思っています。

メインはベトナムの調査でしたが、ベトナムに入国する前にシンガポールに一度出国し立ち寄りしました。帰りはタイを経由して帰国しました。なぜ直行便を使わずにトランジットしたかという点、見たい建築があつたからです。

シンガポールでは、今年の春にオープンしたばかりのチャンギ空港内にあるジュエルというところに行きたかったのです。



チャンギ空港ジュエル

シンガポールのチャンギ空港は、飛行機が発着するターミナルが4つもある巨大な空港で、1つのターミナルの端から端までは移動するのに20分もかかるため、ターミナル

ル間を電車が通って移動が出来ます。ジュエルは複合施設で、14,000㎡の敷地にレストランやホテル、ラウンジ、ショッピングストアはもちろん、アトラクションや植物園もあり、今後さらに拡張していく計画があるようです。中でも一目見たいと思ったのは、ジュエルの中にある滝です。



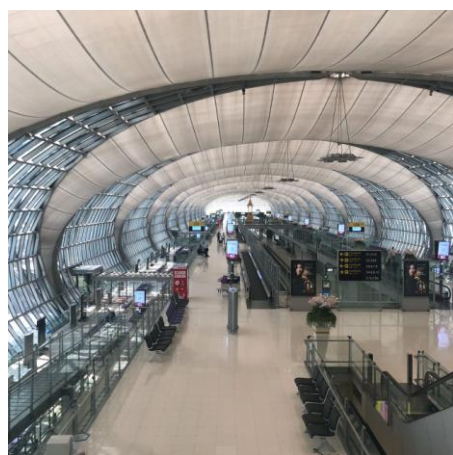
ジュエル内の滝

設計はシンガポールを代表する建築、マリーナベイサンズを設計したモシェ・サフディで、建物はガラスと鉄骨で出来ていて、滝は天井から地下二階まで、水が流れ落ちていきます。以前シンガポールに行った際に、マリーナベイサンズ内で見か

けたレインオキュルスという水を扱ったアートにすごく惹かれました。(渦潮のようなものですが、説明力がないため、興味のある方はぜひ調べてください。動画がオススメです。)ですので、この滝のあるジュエルのオープンを知った時、滝をいつか見に行くと決めていましたので、見る事ができて満足です。

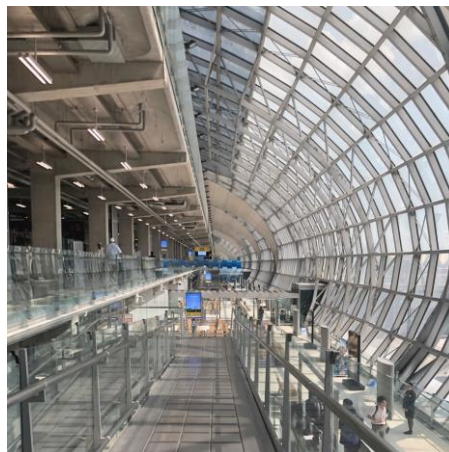
近代的で、室内にも多くグリーンを取り入れており、シンガポールらしい空間でした。

タイでは、スワンナプーム空港を隅から隅まで見学しました。



スワンナプーム空港(1)

設計はヘルムート・ヤーンで、ガラスとスチールの膜が交互にデザインされて、楕円型の長いチューブ状のドームにいるかの様に思えます。タイの強い日差しが入ってくるので少し暑いですが、明るく開放的で、近代的な居心地の良い建築です。

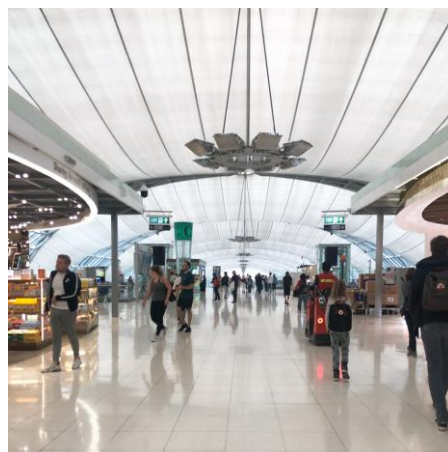


スワンナプーム空港 (2)

異なる床レベルを持つ空港であり、かなり大規模なので、移動が少し大変です。

大きな空港なのにサインが少ないので少し戸惑いました。トランジットで利用することが多く、アラブ系の方やヒンドゥー教徒の方が裸足で空港内を歩いていたり、いろいろな国の方とすれ違って楽しむこ

とができました。言葉や食事が違うように、建築も国によって様々です。なので、これからも様々な国に足を運んで、自分の感性を磨いて行きたいと思っています。



スワンナプーム空港 (3)



事務局からのお知らせ

□ 2019 年度第 4 回研修会の予告

次回研修会は、2020 年 4 月 4 日 (土)、品川区立総合区民会館 (きゅりあん) にて開催します。



く編集後記く

一年が経過するのが早く感じます。もう師走になりました。

いよいよオリンピックが日本で開催される年となります。

各オリンピック施設や、ホテル、道路等の建設も大詰めを迎え急ピッチで工事を進めていると思います。

オリンピック閉会後に建設関係の仕事が急速に冷え込まない事を願っております。

(N・K)

一緒に活動しませんか！

● 会員の種類

正 会 員	-----	24,000 円
消費者正会員	-----	12,000 円
一 般 会 員	-----	6,000 円
団体一般会員	-----	48,000 円

● 年会費

※ご入会の際は入会申込書が必要です。
事務局までご連絡ください。



会員の種類：

正会員、消費者正会員、一般会員、団体一般会員の 4 種あります。「義務と権利」、「会費」が異なります。

▽ 正会員

「正会員」は、会の中核を担う存在で、総会の議決権を持ち、会の目的達成のために必要な活動をし、会の運営に携わるものとします。相談等の業務への対応は消費者正会員を除く「正会員」である必要があります。

▽ 一般会員

「一般会員」は「正会員」に比べ賛助会員としての性格を帯びています。もちろん積極的な参加もできますが、イベント参加や情報提供だけで良いという方向けのものです。会社など団体で登録される場合は「団体一般会員」となりますが、会社の責任者が別途正会員になる必要があります。また、団体一般会員であることを宣伝したり、名刺等に表記できません。